


令和 2 年度 研究サマリー

研究会名称	保存期腎不全治療研究会	
代表者所属	医療法人 海の弘毅会 新北九州腎臓クリニック	
代表者氏名	海津 嘉蔵	
研究方法・結果	<p>目的：進行した糖尿病性腎臓病（DKD）におけるチーム医療による多数治療目標厳格治療の効果を明らかにする事</p> <p>方法：CKDG3 b以上に進行した糖尿病性腎臓病（DKD）患者を対象とし、チーム医療による多数治療目標厳格を実施し、その効果を検討する。</p> <p>結果：対象は DKD 患者 22 例：G3 b 6 例（M/F：3/3）、G4 11 例（M/F：8/3）、G5 5 例（M/F：4/1）である。1 年後に治療開始前後の腎機能を比較した。</p> <p>(1) 体重の改善（減少）、尿酸や HCO_3^- の改善がみられた。</p> <p>(2) eGFR の低下はみられなかった。</p> <p>結論：進行した DKD においてもチーム医療による治療目標厳格達成型治療は有効であった。</p>	
研究成果（論文、学会発表、雑誌掲載等）	<p>CKD チーム医療勉強会（特別講演）チーム医療で行う CKD 外来診療の実際と効果、そして問題点－腎性貧血の最新治療を含めて－</p>	